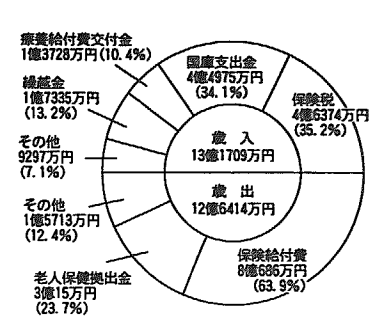


特別会計

平成7年度決算

国民健康保険特別会計



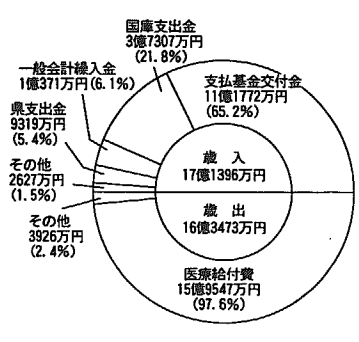
歳入は前年度に比べ、2億724万円、13.6%の減少となりました。主な収入である保険料は、調定額5億4230万円に対し、4億6374万円が町に入り、収納率は85.5%、前年度に比べ1502万円、3.3%の増加となりました。

歳出は前年度に比べ、8684万円、6.4%減少しました。

平成7年度の平均被保険者数は6184人で、前年度より78人増加し、加入率は横ばい状態となりました。

監査委員の決算審査意見は、歳入の減少について「保険料収納額が増収の他、療養給付費や財政調

老人保健特別会計



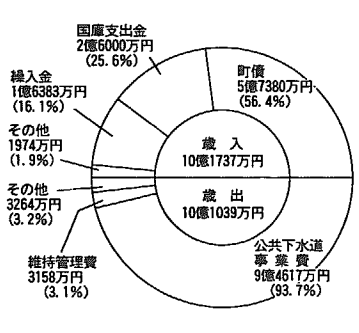
平成7年度の黒崎町の老人医療費支給対象者は、2025人(年間平均)で前年度に比べ59人、3.0%の増加となりました。

診療費総額は、16億5922万円、前年度より1711万円、1.1%減少しました。老人保健対象

者の受診率は年間一人当たり23.3回で、医療費は一人当たり79万3047円、前年度に比べ3万2503円、3.9%の減少となりました。

監査委員の決算審査意見は、歳入の減少について、「医療費が減少したことが要因であるが、診療件数が増加したにもかかわらず医療費が増加したことが特筆できる」と評価し、「保健指導や国保医療費適正化特別対策事業の波及効果によるもの」と結んでいます。

下水道事業特別会計



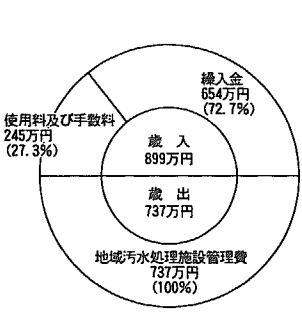
生命の源といわれる水資源と水質保全是、健康で快適な生活環境を守る上から、当町は雨水と汚水の分流式による生活排水の浄化のため、西川流域下水道事業として着手しました。平成7年度は3年度目となりました。

歳出総額は10億1039万円で、うち下水道事業費が9億

4617万円、93%となり、その事業量は、汚水管渠施設工事が4億1246万円、延長2446メートル、雨水管渠施設工事が2億2201万円、延長247メートルを整備しました。

この結果3年間の事業量は、汚水管渠施設工事が総延長5662メートル、雨水管渠施設工事が総延長391メートルとなりました。

地域汚水処理事業特別会計



平成3年度から5カ年をかけて黒崎北部土地画整理事業により整備を行い、黒崎町ときめき地内の下水処理を平成7年度から供用開始した事業です。

歳出総額は737万円で、地域汚水処理施設管理費に100%使用し、うち下水施設維持管理業務委託に143万円、水質管理業務委託に151万円の委託料が含まれており、処理場及び中継ポンプ場の施設管理の運転管理と水質の安定化を図りました。

入札結果	入札結果				入札結果			
	工事名	工事業者	請負額	完成期限	工事名	工事業者	請負額	完成期限
総務課	①新洞寺治路道路改良工事に伴うガス水道管修設工事	(有)佐藤設備	4,758,600円	平成9年3月21日	農道94号線開通94-6号排水路改良工事	(株)笠井組	6,180,000円	平成9年3月25日
	島原汚水中継ポンプ場実施設計(その3)業務委託	オリジナル設計(株)	4,532,000円	平成9年3月25日	砂原1号排水路改良工事	(株)山際総合建設	1,905,500円	平成9年3月25日
	小沼ポンプ場用地測量業務委託	(株)都計	1,545,000円	平成9年3月15日	黒崎町立立山小学校外溝工事	(株)赤川組	18,025,000円	平成9年3月14日
	下山田雨水単独管渠築造(第1区)工事	(株)赤川組	4,377,500円	平成9年3月25日	黒崎町立黒鳥小学校受水槽改修取替工事	(有)鈴木配管業工	2,729,500円	平成9年3月26日
	前川原ポンプ場照明設備設置工事	大東電業社	2,523,500円	平成9年3月10日	寺地西団地臨排水路安全施設工事	(株)笠井組	2,935,500円	平成9年3月30日

町の動き

赤鬼にビツクリ



2月3日は節分。この日、町内の各保育所では、「豆まき」が行われました。山田保育所では、豆で鬼退治を行う昔話「かみさまのくれた豆」のイラストを映写したあと、豆まきの歌や踊りを行いました。いよいよ鬼が登場すると子供たちは逃げ回ったり、紙でつくった豆をぶついたりしました。なかには鬼にびっくりして泣いている子もいましたが、福の神から落花生のプレゼントをもらおうと笑顔を取り戻していました。

陣取りゲームで一汗



1月25日(土)、北部地区公民館で親子のつどいが行われました。この時期はとかく運動不足になりがちなので、親子で楽しく体を動かそうと、例年開催しているもので、当日はアンパンマンなどの映画会を行ったあと、踊りを取り入れた歌や、チーム対抗のゲームに子供たちは夢中になっていました。

申告は自力で

2月4日(火)、農村環境改善センターで確定申告書の記載説明会が行われました。確定申告は通常2月16日からですが、税金の還付がある場合は1月1日から受付が行われており、今回は、年金所得の方や給与所得の医療費控除の追加

などの還付申告の記載説明がありました。年々、申告に対する意識の高まりで自力記載される方が多くなっており、今回は40人の参加者が税務署の職員から疑問点などを問いつながら記載していました。

横木収入役が退任



平成5年4月1日から収入役を務められた横木正義さんが、2月12日付けで退任されました。前収入役は、昭和29年役場に勤務以来、助役、収入役を歴任し43年間町政に尽力されました。長い間ありがとうございました。

体操

シリーズNo.3 生涯スポーツ

積極的にチャレンジ

私は器械体操を始めて今年で10年になります。今思えば、この10年間はとて長いようで短く感じています。そもそも体操を始めたキッカケとは、幼い頃から縄跳びやかけっこをして、とにかく体を動かす事が好きで、その中でも鉄棒にぶらさがるのが大好きでした。母は、そんな私に体操競技を勧めたのです。私はどんな事をするのか全く分からず、ただ鉄棒でグルグル回ったりする事が、毎日思う存分できると思いついていたのです。

練習は、当然楽しいばかりではありません。「もし体操なんかして遊んでいたら今頃みんなと遊んでられないのに……」やめてしまいたいと思いついた時期もありました。そして一緒に励まし合いながらやってきた仲間が一人また一人とやめていった中でも、私自身、やめずに続けてきたのは、私にとって体操とは、心から打ち込めるスポーツだったからだと思います。

体操競技は、他の団体競技と違い、自分自身との戦いなのです。練習は決して、派手ではありません。毎日少しずつの繰り返しで技を完成させていくのです。ですから出来た時の喜びは何とも言えません。どんなスポーツにおいても、練習の中でほんの少しの喜びがあるからこそ、どんなに厳しい練習にも耐えられるのではないかと思います。

これまで、いくつもの大きな壁や進路などのいろいろな選択肢にぶち当たった時、時には厳しい事も数多く言われました。でもどんな時も、よい方向へと道を開いてくれたのは両親でした。今はとても感謝しています。

これからは、大学という自由な空気の中で、何事にも積極的にチャレンジしていきたいと思っています。

